

1 教科について

国語

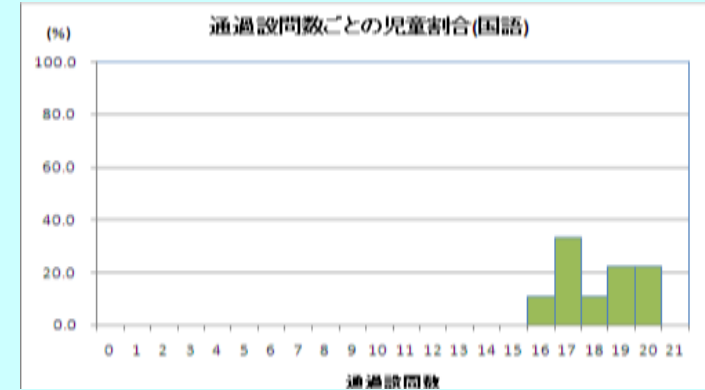
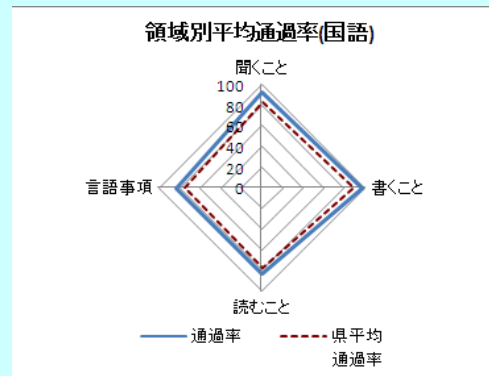
昨年度の課題

- ① (聞くこと)  
「話の要点を聞き取ることができる」  
話の全体を理解しにくく、部分的にしか記憶していない。
- ② (書くこと)  
「書く必要のある事柄を収集したり選択したりして、理由を明確にすることができる」  
書く必要のある事柄を資料から集めることができていない。
- ③ (話すこと・聞くこと)  
「話の中心や話し手の意図をとらえながら聞き、適切に質問することができる」  
聞き手が質問した内容に合う質問の観点を選擇することができていない。

昨年度の課題を受けて  
具体的に取組んだ事項

- ① 「しっかり教える」  
説明文での指導を中心に、文章構成や語句の使い方などに加え、中心となる語や文をとらえることを意識させた指導を行う。
- ② 「じっくり考えさせる」  
下線を引いたりメモをとったりすることが習慣化するよう継続して指導するとともに、メモしたことを相互に関連づけられるように指導する。
- ③ 「はっきり表現させる」  
相手意識を持ち、話の中心や意図を明確にした発表ができるように指導する。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 86.2% 県平均 78.5%



**重点課題** ◎: 「基礎・基本」定着状況調査  
◇: 全国学力・学習状況調査

- ◎ (読むこと)  
登場人物の性格や気持ちの変化について、叙述を基に想像して読む力が十分身につけていない。
- ◎ (言語事項)  
国語辞典の引き方や漢字の読みが十分理解できていない。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 「しっかり教える」  
物語文において、読み取るための手がかりを得る着眼点(会話文、心中語、行動、表情等)を継続的にしっかり教える。
- ② 「じっくり考えさせる」  
マイ辞書を授業の中でしっかり活用し、辞書の引き方や漢字学習に役立てるよう指導する。
- ③ 「はっきり表現させる」  
着眼点を手がかりにして読み取ったことをグループや全体で交流させる指導を小中一貫して連携し、実施する。

来年度の目標値

- 「読むこと」の通過率を県平均よりも5%以上アップさせる
- 「言語事項」の通過率を県平均よりも5%以上アップさせる

指導方法等の改善計画について

算 数

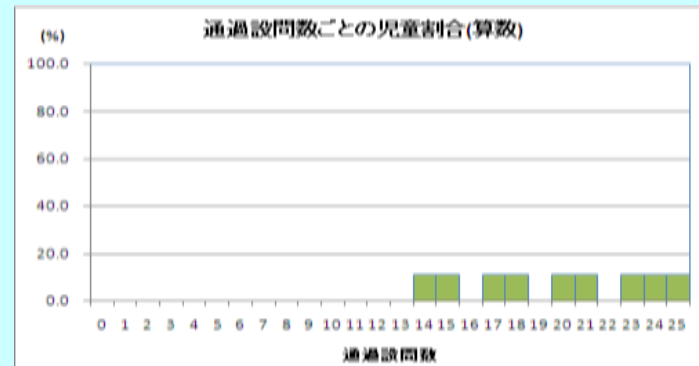
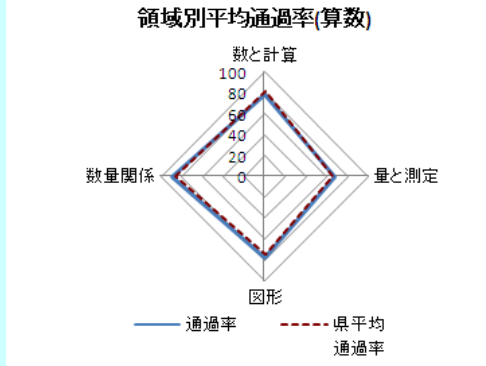
昨年度の課題

- ① (量と測定)  
「面積(はがき)を表す単位を理解する」  
対象物の面積の単位が理解できていない。量感が十分身につけていない。
- ② (数量関係)  
「数量の関係を見つけて立式することができる」  
数量の関係を理解し、例示を参考に立式することができていない。
- ③ (数量関係)  
「二次元表に示された数の意味を考え、円グラフと関連づけることができる」  
二次元表の一部の数を使って書くことのできる円グラフを選ぶことができていない。

昨年度の課題を受けて  
具体的に取り組んだ事項

- ① 「しっかり教える」  
ノート指導を充実させることで、自力解決において考えるための基礎的な知識、技能の定着を図る。
- ② 「じっくり考えさせる」  
自分の考えを文章や図、記号などを効果的に使いながら記述させるノート指導に重点をおき、考える力を高める。
- ③ 「はっきり表現させる」  
ノートに記述した自分の考えをもとに、全体での練り合いの場で発表させることで、論理的な考え方を身に付けさせる。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 78.7% 県平均 77.8%



重点課題 ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査  
◇ : 全国学力・学習状況調査

- ◎ (量と測定)  
面積を表す単位を理解する力や分度器で角度を測定する技能が十分身につけていない。
- ◎ (数と計算)  
単位分数のいくつ分という表し方、四捨五入しての概数での表し方が十分理解できていない。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 「しっかり教える」  
基本的な数や式の計算の習熟を図ることをはじめ、分度器の使い方など基本的な技能を身につけるため、ドリルタイムやペア学習で繰り返し練習し基礎的な知識、技能の定着を図る。
- ② 「じっくり考えさせる」  
具体物の操作で、位置関係や角の大きさ、面積、体積について理解を深める指導を小中で連携し、徹底する。
- ③ 「はっきり表現させる」  
ノートに記述した自分の考えをもとに、全体での練り合いの場で発表させることで、論理的な考え方を身につけさせる。

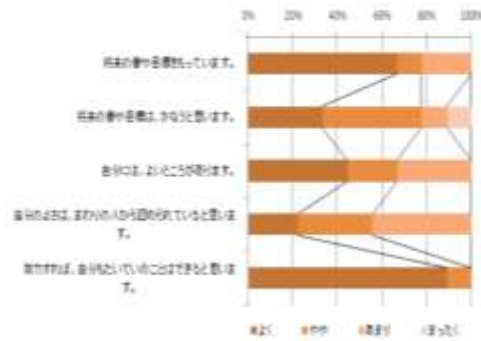
来年度の目標値

- 「量と測定」の通過率を県平均よりも5%以上アップさせる。
- 「数と計算」の通過率を県平均よりも5%以上アップさせる。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，児童質問紙）

(1) 生活・学習

自己実現力・自己効力感

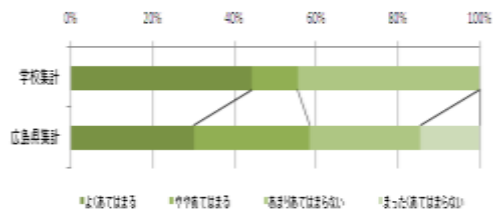


改善したい点 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組みの内容
◎ 自分にはよいところがあり、自分のよさがまわりの人から認められているという自己肯定感をもつ児童が50～60%である。 ◎ 月に11冊以上読書をする児童もいるが、個人差が大きい。読んだ本について友達や家族に話をしている児童が半数くらいである。	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の行事や授業において、参加の仕方や発表、評価の方法を工夫し児童の参加意欲と自己肯定感を高める工夫をする。</li> <li>「読書貯金」を効果的に活用し読書量を増やすとともに、読書カードでおすすめの本の紹介をしたり、家庭読書の日を設定して進んで読書ができるようにする。</li> </ul>

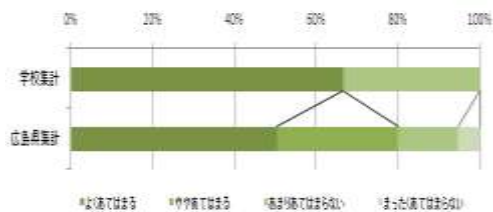
来年度の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己肯定感をもつ児童の割合を80%以上にする。</li> <li>進んで読書をする児童の割合を80%以上にする。</li> </ul>
---------	--

(2) 教科

国語の授業では、漢字などのくり返し学習をするのが好きです。



算数の授業はよくわかります。



	児童の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	◎ 漢字などの繰り返し学習が好きな児童の割合が約半分である。児童に意欲を持たせるような学習の工夫が不十分である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドリル学習や類題などの既習事項と新しい内容を関連させながら、学習を進めることで、学習への意欲を高める工夫をする。</li> <li>漢字ミニテストの結果を点数化・グラフ化することで、目標を持って学習ができるようにする。</li> </ul>
算数	◎ 算数の授業がよく分かる児童は67%だが、個人差がある。また、算数の授業を楽しみにしている児童の割合も同様である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主学習ノートで授業の復習、特に予習に取組ませ、見直しをもって授業に臨めるようにする。また、内容のよいノートを紹介して意欲を高めるようにする。</li> <li>ペア、グループ学習、具体操作や説明などの算数的活動を積極的に取り入れ、児童が課題を解決できるようにする。達成感や喜びが味わえるよう、個別指導も充実させる。</li> </ul>

来年度の目標値	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字などの繰り返し学習をすることが好きな児童の割合を80%以上にする。</li> <li>算数の授業がよく分かる児童の割合を90%以上にする。</li> </ul>
---------	---